

もっとお米を食べよう！ 試食講習会

託児百円、参加無料！

人が生きていく上で欠かせないカロリーベースで4割に低迷している日本の食料自給率。高齢化に担い手不足など大変厳しい状況にある農業・生産者の問題ばかりと片づけられません。私たち消費者の米離れと食生活の洋風化もその要因となっているのではないのでしょうか。

この試食講習会を通して、環境こだわり米の消費拡大や転作物「米粉・飼料米の新規需要米」の利活用もすすめたいものです。そうすることで、私たちの大切な役割とも言える地産地消や食育を推進し、健康な食事バランスや治水に国土環境保全など、水田の持つ多面的機能維持にみんなで努めませんか。



日時：11月11日（金）午前11時～13時半

会場：コープしが生協会館（コープぜぜ2階ホール）

—内容—

1. 開会の挨拶・・・滋賀県食品産業協議会 八木会長(ゆば八)

2. お話し「お米を食べて元気になる、日本型食生活のすすめ」コープしが食の安全推進室統括 佐原正哉

食料や農業をめぐる昨今の問題を分かりやすく紹介し、健康や家計応援にもなり安心感にもつながる地産地消など「近い食のすすめ」についてためになるお話しをしたいと思います。そして10億人にも及ぶ世界の飢餓人口・食料問題にも貢献し、滋賀県の環境保全にも役立つ「ご飯食と水田の大切さ」についても話題提供させていただきます。身近な地元食材の試食を通して、意見交換をしたりみんなで話し合ってみましょう。この大切な問題について・・・

3. 試食 米粉について図司穀粉（OH！ミニ豚まんの米粉生地メーカー）の米粉のお話しもあります。



百聞は一見、一食にしかず！みんなで地場産品を食べみて、地産地消など近い食と地域の食料農業・健康・健康・食文化や環境への影響など、みんなで話し合ってみませんか。

- 近江米「秋の詩」と「比叡ゆば」「湖魚佃煮」「漬け物」
- 近江の米粉と豚肉を使った豚まんを作ってみよう！
コープしがでは「OH！ミニ豚まん」（近江豚と米粉用）と銘打ち、年内に開発し発売致します。

最後に、環境こだわり米「秋の詩5Kg」に近江特産品のお楽しみ抽選もあります。

お昼も兼ねて、お気軽にお越し下さい！

主催：滋賀県食品産業協議会、生活協同組合コープしが、地産地消推進協議会

申し込み問い合わせはコープしが食の安全推進室の服部・佐原、電話番号077-586-4881
締め切りは11月4日（金）ですが、定員50人を超え次第、締め切らせて頂く場合もあります。